

授業の様子

1学期もあっという間に最終日を迎えました。だんだんと学校生活に慣れてきましたか？工業技術基礎の各科の様子と生徒の皆さんの様子を紹介します。

建築科：手書きの製図をしています。



機械科：旋盤をしています。



情報科：プログラミングをしています。



電気科：電子工作をしています。



明日から夏休み！ 始業式は9月1日（火）です！

一学期を無事に終えることができました。それぞれの事情や思いを抱えながら夜の時間に学校へ足を運び続けた皆さんの姿勢に心から拍手を送りたい気持ちです。時には大変な日もあったと思いますが、それでもここまで来られたことは、皆さん自身の力です。

夏休みは、頑張ってきた自分をねぎらう大切な時間です。ゆっくり休むのもよし、好きなことに打ち込むのもよし、新しいことに挑戦するのもよし。仕事で忙しい人も多いと思いますが、無理をせず、自分のペースで過ごしてください。

生活リズムや体調にも気をつけながら、心と体を少し軽くしてほしいと思います。

また二学期に少し成長した皆さんと会えることを楽しみにしています。

W杯 ドーハの悲劇から歓喜へ ～この夏を次の一步へつなげていこう～

私は、ほどよい緊張感と臨場感のあるスポーツ観戦が好きです。世界陸上やサッカー、ラグビーなどを観るときは、ときどき「スポーツオタク」になりきって楽しんでいます。

今、サッカーW杯北中米大会が終盤を迎えています。日本代表は強豪国を相手に互角の戦いを見せてくれましたが、ブラジル戦で、残り数分で逆転ゴールを許してしまいました。とても残念で、震えるような深夜だったと思います。次の大会では、さらにいい景色が見られることに期待しています。

日本代表がアジア予選を勝ち抜き、ハラハラしながらも本選に出場することは、今では当たり前のようになっています。しかし、1994 年アメリカ大会以前は、予選を突破すること自体が「夢物語」でした。」リーグが発足し、「いよいよ悲願達成か」と期待が高まっていた時代です。悲願の初出場を信じて疑わなかった残り 1 分に、まさかあんな結末が待っていたとは思いませんでした。1993 年、カタールの首都ドーハで行われたアジア最終予選のイラク戦で、アディショナルタイム（ロスタイム）に同点ゴールを許し、予選敗退となりました。いわゆる「ドーハの悲劇」です。

その 4 年後、マレーシアのジョホールバルでついに W 杯初出場を決め、「ジョホールバルの歓喜」と呼ばれる歴史的な勝利を収めました。それ以来、日本代表は連続して本選出場を果たしていますが、それはあの屈辱的な敗戦から、多くの教訓をつかみ取った結果だと言えるでしょう。

日本代表の歩みを振り返ると、「大きな挫折をどう乗り越えるか」が、その後を大きく変えてきたことが分かります。そして、これは皆さんの高校生活にも通じることだと思います。

人は誰しも、負けたり失敗したりする経験は、できれば避けたいと思うものです。しかし、そうした経験から這い上がった時間は、何事もなく無難に過ごした時間よりも、はるかに人をたくましくしてくれます。

皆さんにとって今は、日々の学習や部活動、生徒会活動などに懸命に取り組むことが、何より大切な時期です。その中では、思うようにいかないこともきっとあるはずです。

夏休みは、そんな自分を見つめ直すのによい機会です。日頃できないことにも思い切って挑戦し、その経験を、これからの成長の大きな糧にしていってください。

1 学年

今後の予定

9 月 1 日(火) 始業式

9 月 2 日(水)～4 日(金) 短縮授業①～③

9 月 9 日(水) 生活体験発表神戸地区大会

9 月 30 日(水) 育友会理事会